

新・町指定有形文化財！！寺浦1号古墳出土埴輪群

はじめに -新・指定有形文化財-

町の教育委員会では、町内にある重要な文化財を町の文化財に指定することで、それらを保護しています。

昨年12月、昭和54年に町内の寺浦1号古墳から発見された5体の埴輪が「寺浦（てらうら）1号古墳出土埴輪群」として町の有形文化財になりました（写真1）。
今回は、この埴輪群について紹介します。

埴輪（はにわ）って、何だっけ？

埴輪とは、古代のお墓である古墳の周りに並べられた素焼きの焼き物のことです。筒（つつ）の形をした「円筒埴輪（えんとうはにわ）」（写真2）や人物や動物、道具等の形をした「形象埴輪（けいしょうはにわ）」等があります。これらが作られた理由は、諸説ありますが、円筒埴輪は、神聖なエリアである古墳の内側と外側の境目を示す目印、形象埴輪は、古墳に埋葬された人の葬儀の様子や「あの世」での暮らすための道具を表したものと考えられています。



写真1：寺浦1号古墳出土埴輪群
女子埴輪3体（1～3）、男子埴輪1体（4）、馬形埴輪1体（5）の計5点の形象埴輪が文化財に指定されました。

写真2：円筒埴輪
墓の内と外の境界を示すために作られたと考えられています。

寺浦1号古墳について

埴輪群が見つかった「寺浦1号古墳」は、上里町大字長浜に所在した古墳です。近くからは、「寺浦2号古墳」など、計6基の古墳が見つかるため、古墳群であったと考えられています。昭和54年に工事による古墳の破壊が決まったので、町教育委員会では事業者からご協力をいただき、工事の前に発掘調査を行いました。この調査により、寺浦1号古墳が約1500年前の古墳時代後期に作られた円形の古墳であることが判明しました。また、古墳の南側からは、埴輪の破片がまとまって出土しており（写真3）、町の文化財になった埴輪もこの場所から発見されました（写真4）。



写真3：発掘された寺浦1号古墳

発掘調査によって、古墳は直径14m程の円形をしており、周囲には堀が巡らされていたことが判明しました。



写真4：発見された女子埴輪の頭部

写真3の破線で囲んだ位置から大量の埴輪片と共に発見されました。

出土した埴輪群の全貌

寺浦1号古墳からは、円筒埴輪と形象埴輪の両方が出土しています。今回、町の文化財に指定されたのは、女子埴輪、男子埴輪、馬形埴輪の3種類の形象埴輪です。

女子埴輪は、3体見つかっています。高さは74cmほど、スカートのような衣装を着ており、右手を挙げているのが特徴です（写真5）。踊りを踊っている姿と考えられています。

男子埴輪は、高さ75cmほど、左手を腰に当て、右手を上高く上げたポーズをしています。右手には、2本の棒が握られており（写真6）、「四つ竹」と呼ばれるカスタネットのような打楽器を演奏する姿と考えられています。

馬形埴輪は、高さ74cm、横幅75cmほどの馬の形をした埴輪です。鞍（くら）や手綱（たづな）等の道具もリアルに表現されています。また脚には、V字状の切れ込みを作り、ひづめを表現していました（写真7）。

おわりに

-埴輪群のココがスゴい!!-

これらの埴輪群が発見にされたことにより、当時の人々の様子を詳しく理解することができるようになりました。例えば、四つ竹を持つ埴輪と踊りを踊る埴輪が一緒に出土したことは、楽器の演奏に合わせて踊り子達が踊りを踊る様子を表していると考えられます。この様子は葬儀の様子を表しており、埴輪たちの踊りは、古墳に葬られた死者に捧げられていると思われます。また、これらの埴輪の作り方や材質の粘土の特徴が群馬県、特に現在の藤岡市周辺で作られた埴輪とよく似ていることがこれまでの調査で分かってきました。そのため、群馬県で作られた埴輪が神流川を越えて、古墳時代の上里町に持ち込まれたと考えることができます。そのため、古代の人と人との交流の様子を教えてくれる重要な資料です。

そして、何よりも凄いのは、今年4月以降、上里町立郷土資料館では、この埴輪群をいつでも見ることができるようになることです。

（郷土資料館 文化財係 林 作成）

【参考文献】

丸山 修『寺浦1号・2号古墳発掘調査報告書』上里町教育委員会 2020年
上里町史編集専門委員会編『上里町史』資料編 原始古代編 上里町 1992年
上里町史編集専門委員会編『上里町史』通史編上巻 上里町 1996年
塩野 博『埼玉の古墳 児玉』p559～p562 さきたま出版会 2004年



▲写真5：3体の女子埴輪
踊りを踊っている姿をしているため「踊る埴輪」とも呼ばれています。



写真6：男子埴輪▶
高く上げられた右手には、四つ竹がにぎられています。



写真7：馬形埴輪全体（左）と後ろ姿（右）▲
実際の馬の特徴を丁寧に表現しており、鞍や手綱等も作りこまれています。また、ひづめ（➡）を持つ馬形埴輪は、群馬県産の埴輪に多いことが知られています。